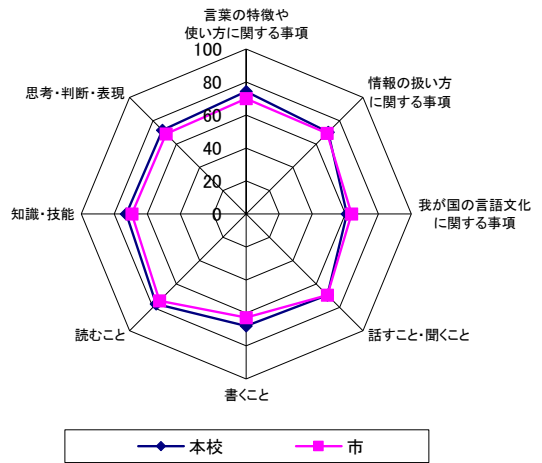


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.3	69.9	72.3
	情報の扱い方に関する事項	70.1	69.2	73.0
	我が国の言語文化に関する事項	61.0	63.8	66.0
	話すこと・聞くこと	69.5	69.5	71.5
	書くこと	67.9	62.8	67.1
	読むこと	77.2	74.4	73.7
観点別	知識・技能	72.7	69.4	71.9
	思考・判断・表現	72.0	68.8	70.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	○校内正答率は74.3%で、市の正答率を4.4ポイント上回った。 ○文と文との接続の関係を理解しているかを問う問題の校内正答率は72.0%で、市の正答率を13.5ポイント上回った。 ●三字の熟語の成り立ちについて理解しているかを問う問題の校内正答率は64.6%で、市の正答率を2.8ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字の読み書きについては、引き続き反復練習を奨励し、基礎基本の定着を図っていく。同音異義語や同訓異字について理解させ、文脈の中で正しい文字を使えるように指導する。 ・語彙を増やし言葉に関する感覚を豊かにするため、読書や辞書の活用を継続していく。 ・漢字が表意文字であることを、日常の様々な場で意識させながら、熟語の成り立ちの理解へとつなげていく。
情報の扱い方 に関する事項	○校内正答率は70.1%で、市の正答率を0.9ポイント上回った。 ○情報と情報との関係について理解し、目的に応じて文章を簡単に書く記述式の設問の校内正答率は57.3%で、市の正答率を2.7ポイント上回った。	・文章や会話から必要な情報を読み取ったり聞き取ったりする力を高めるために、注意を傾けて聞く・話す態度の育成を図る。 ・テーマに沿っていくつもの観点を見出す場を授業の中に設け、多くの視点から物事をとらえようとする力を育む。 ・授業の中で、理由や事例にあたる内容を意識して読んだり聞いたりできる場を設ける。
我が国の言語文化 に関する事項	●語句の由来に関心をもち、和語・漢語・外来語について理解しているかを問う設問の結果の校内正答率は61.0%で、市の正答率を2.8ポイント下回った。	・様々な言葉を、和語・漢語・外来語に分類する練習をさせ、和語と漢語は、漢字の音と訓を手掛かりに分けられることを復習していく。 ・古典の一部を声に出して読んだり、詩歌を暗唱したりしながら音声言語としての感覚を磨き、言葉の理解を深めさせる。
話すこと・聞くこと	○校内正答率は69.5%で、市の正答率と同等であった。 ○話の内容を捉える問題の校内正答率は80.5%で、市の正答率を4.3ポイント上回った。 ●自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉える問題の校内正答率は59.8%で、市の正答率を6.3ポイント下回った。	・内容の要点をつかんで聞くことについて、引き続き指導していく。 ・目的や場、相手を想定し、それらに応じた話し方ができるよう指導するとともに、そういった場を設定して経験を重ねさせる。 ・話の内容から捉えたことを短い文章でまとめる機会を、朝の学習や授業内で取り入れることで、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を的確に捉えられるようにしていく。
書くこと	○校内正答率は67.9%で、市の正答率を5.1ポイント上回った。 ○記述で答えるすべての設問において、市の正答率を上回っている。 ○自分の意見とその理由を明確にして書く問題の校内正答率は89.0%で市の正答率を4.8ポイント上回った。	・書くことによる表現の楽しさを味わえるよう、作品を友達と読み合ったり発表したりする場の設定を工夫する。 ・文法的な事項や表記上の決まりを復習し確認する学習を繰り返して、自信をもって書けるようにさせる。 ・話し言葉と書き言葉の差異について指導する。 ・何のために書くのか、どんなねらいで書くのか、目的をはっきりと示しそれらを理解させた上で書き始められるように計画的に指導する。
読むこと	○校内正答率は77.2%で、市の正答率を2.8ポイント上回った。 ○物語文の読解においては、すべての設問で市の正答率を上回った。登場人物の心情や描写を基に捉える問題の校内正答率は97.6%で、市の正答率を6.9ポイント上回った。 ●説明文の文章全体の構成を捉える問題の校内正答率は59.8%で、市の正答率を1.5ポイント下回った。	・説明的文章の読解においては、叙述を正確に読み取るために語句の意味調べを大切にしながら、文章の構成をつかみ、指示語や接続語に着目させ、キーワードとなる言葉を捉える学習を積み重ねていく。 ・文学的文章の読解においては、情景描写の解釈や表現技法の効果、伏線などに気付かせながら読む楽しさを感じられるような読み方を指導していきたい。